

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に向けて-



発行元
佐野市教育センター
 佐野市上羽田町 1134 番地 1
 電話 20-3108
 20-3048(相談専用)

昨年度の GIGA 通信第 20 号で、学校栄養教職員の先生方によるロイロノートを活用した「食に関する授業」づくり研修について御紹介しました。この研修は今年の夏季休業中にも実施され、9月から、研修で作成した教材を活用した「食に関する指導」が各学校で展開されています

そこで今回の GIGA 通信では、学校栄養教職員の先生が 1 人 1 台端末を活用して、各学校の担任の先生と T・T で行っている「食に関する指導」について、吉水小学校と葛生義務教育学校での実践を紹介いたします。

『授業の質を高めることをねらいとした 1 人 1 台端末の活用～「食に関する指導」での実践例～』 (学校栄養教職員)

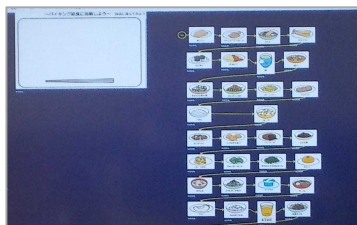
1 人 1 台端末を活用した授業づくりを行ったのは学級活動の「バイキング給食にちょう戦しよう」という題材です。これまでは主にワークシートと提示資料を使って授業を進めていましたが、



新たにロイロノートを加え、次のように授業を組み立てました。

学習活動	資料
1 本時の学習課題の確認	
2 疑似バイキングをする。	ロイロノート
3 本時のめあての確認	
4 主食・主菜・副菜について知り、その組み合わせによって栄養バランスがよくなることを知る。	提示資料
5 学校給食では主食・主菜・副菜が組み合わせられ、栄養バランスのよい食事であることを確認する。	給食写真
6 最初に選んだ献立は主食・主菜・副菜が揃っていたか確認し、再考する。	ロイロノート ワークシート
7 他の児童の考えを知り、理解を深める。	ロイロノート
8 バイキングの約束事を確認する。	提示資料
9 まとめと振り返り	ワークシート

◇ロイロノート活用で児童の考える時間を確保
 これまで学習活動 2 と 6 では、印刷された料理



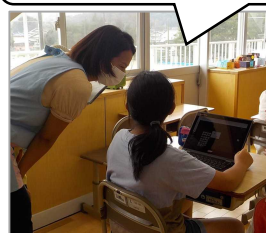
ロイロノートで作成した疑似バイキングシート

のカードをはさみで切り取り、ワークシートに糊で貼るといった作業を行っていました。そこで、この場面にロイロノートを活用して、作業時間を削減。児童が考

える時間を十分に確保しました。学習活動 6 では、学校栄養教職員の先生の説明や板書などをもとに、最初に選んだ献立を「主食・主菜・副菜」という視点で見直し、栄養バランスや料理の配置をじっくり再考する児童の姿が多く見られました。



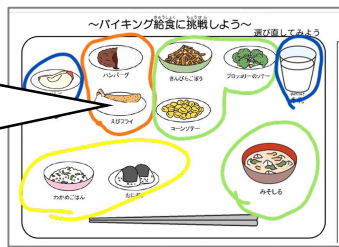
学校栄養教職員の先生にアドバイスをもらう児童



再考後、栄養バランスを考えて児童が新たに選んだ献立例



料理の半分を白ペンで消して、2種類の主菜を半分ずつ選んだことを表現



◇ロイロノートで各自の献立を共有。友達のことを知ることでさらに理解を深める

学習活動 7 では、ロイロノートで再考した各自の献立を全体で共有するとともに、数名の児童が自分の献立について説明しました。栄養教諭の先生は、「ロイロノート活用で児童の考える時間を十分に確保でき、これまで時間が足りずできなかった児童の発表も行うことができました。友達のような考えを知ることによって、児童は望ましい栄養や食事の取り方について、自分の考えを更に深めることができたのではないかと思います。」と話されていました。